

建設産業委員会議事録（要点筆記）

令和7年7月3日（木）
午前9時30分 開議

○委員長（伊藤正興）

ただいまから、建設産業委員会を開きます。議事を行います。

初めに、陳情第6号については、意見陳述の希望がありますので、順序を繰り上げて、意見陳述と審査を行ってよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ご異議なしと認めます。しばらく休憩します。

午前9時31分 休憩

午前9時35分 再開

委員会を再開します。陳情第6号を議題とします。当陳情について、委員からご意見はありませんか。

○竹内功治委員

政府方針でもあり、内容が悪いわけではありませんが、中小企業・零細企業への支援がまだ政府からしっかりと行われていない中で、この1,500円という賃金に引き上げることは、まだ難しいと思います。会派としては反対です。

○委員長（伊藤正興）

他にご意見はありませんか。

○麻生七海委員

2020年代に最低賃金を全国平均1,500円に引き上げるという点や、中小企業支援については賛成です。しかし、地域の実情等を踏まえるべきであり、一律に最低賃金の額を同一にするというのは反対です。

○委員長（伊藤正興）

他にご意見はよろしいでしょうか。ご意見はないようですので、これで終わります。

○委員長（伊藤正興）

お諮りします。ただいまから、討論を省略し、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○委員長（伊藤正興）

ご異議なしと認めます。ただいまから、採決を行います。本陳情を採択することに賛成の委員の挙手をお願いいたします。

【挙手なし】

○委員長（伊藤正興）

挙手なしです。よって、陳情第6号は不採択と決定しました。

午前9時37分 休憩

午前9時38分 再開

○委員長（伊藤正興）

委員会を再開します。続きまして、議案第53号中、当委員会に分割付託されました案件を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○市民課長（沼田昌明）

市民課所管分の補足説明はありません。

○産業課長（榊原正彦）

産業課所管分について補足説明をいたします。歳出6款1項2目 商工振興費 3,962万9千円の追加は、プレミアムデジタル商品券事業でございます。本事業は、国の重点支援地方創生臨時交付金と元気商店街推進事業補助金を活用し、速やかに2次募集を実施するものであります。内容は1次募集と同様に、プレミアム率は20%、1口6,000円を5,000円で購入することで、発行総額は約2億1千万円、発行口数は約3万5千口を見込んでおります。申込期間は8月20日から9月15日まで、利用期間は11月までの約2ヶ月半となります。

○観光課長（中村省吾）

観光課所管分の補足説明をさせていただきます。歳入19款1項6目 商工費寄附金 25万2千円は、山車祭り関連事業のために企業1社からいただいた企業版ふるさと納税です。本寄附金は、歳出6款1項4目 観光費における観光振興事業に充当し、春まつりPRポスター・パンフレット作成委託料の財源の一部として活用させていただきます。

○環境課長（太田敦之）

環境課所管分について補足説明をいたします。4款1項4目 環境対策費 1,000万円の追加は、地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業補助金です。本庁舎立体駐車場における設備設置工事でキュービクル設置が不要となったことを受け、環境省から増額の内示があったため、令和8年度に予定していた横川小学校への太陽光発電設備増設を前倒しで実施するものです。

続いて、同款2項2目 ごみ処理費、ごみ減量協力還元事業の3,806万円の減額は、令和6年度の家庭系ごみ減量目標が未達成であったため、令和7年度の還元策は実施しないこととし、関連する事業費を減額するものです。

○都市計画課長（田中賢）

都市計画課所管分につきまして、歳出2款1項5目 財政管理費、緑化基金積立金 12万9千円の追加は、公園緑化のためにいただいた寄附金を基金に積み立てるものです。また、7款5項4目 公園費、工事請負費 37万1千円の追加は、同じく個人の方からのご寄付によるもので、寄付者の意向により、前田公園に河津桜3本を植樹します。

○市街地整備課長（内田尚良）

市街地整備課所管分につきまして、7款1項1目 都市計画総務費、名鉄河和線連続立体交差化事業の委託料 2,266万円は、鉄道高架事業調査検討業務委託です。令和12年に予定されているJR武豊線の事業完了後、速やかに名鉄河和線の事業に着手できるよう、令和8年度からの詳細調査に先立ち、工法の検討や費用対効果の把握など、事業の必要性を明確にするための基礎調査を行うものです。

○委員長（伊藤正興）

補足説明を終わりました。ただいまから質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○竹内功治委員

プレミアムデジタル商品券事業について、1次募集が好評だったことを受け、

市の財源を使って口数を増やす検討はされなかったのでしょうか。

○産業課長（榊原正彦）

今回は、国の交付金に加え、県の「元気商店街推進事業補助金」という新しい制度を活用できたため、これを活用する形で事業を組み立てました。市の一般財源を投入するという議論は、今のところしておりません。

○澤田勝委員

前回計上されていたSNS広告料が今回はありませんが、その理由を教えてください。

○産業課長（榊原正彦）

SNS広告料については、1次募集の際に計上した予算で、2次募集の期間も継続して効果的にPR活動を行っていきたいと考えております。

○小出義一委員

名鉄河和線連続立体交差化事業の調査委託について、内容をもう少し詳しく教えてください。

○市街地整備課長（内田尚良）

主に二つです。一つは費用対効果の算出で、これが事業費の約75%を占めます。仮線路をどこに設置するか等の工法を検討し、費用対効果を算出します。もう一つは、まちづくりの検討です。高架化による新たな交通ネットワークの構築、それに伴う駅前広場の整備や人の流れの変化に対応した滞留空間の設置などを検討し、基本構想としてまとめます。

○副委員長（榊原瑞輝）

ごみ減量協力還元事業について、ごみ排出量の1日あたりの目標値420gを設定した根拠と、ごみ袋の年間消費量の推移を教えてください。

○環境課長（太田敦之）

目標値の根拠ですが、令和5年度の実績が440gで、そこから20gの減量を達成したいという思いと、近隣自治体の実績も参考に、知多半島内で1位を目指したいという思いから420gと設定しました。ごみ袋の消費量ですが、ここ数年は概ね年間4,000箱程度で推移しております。

○鈴木幸彦委員

公園管理事業について、前田公園に河津桜を植樹することになった経緯を教えてください。

○都市計画課長（田中賢）

寄付者のご意向を伺いながら協議を重ね、前田公園に植樹することとなりました。

○竹内功治委員

名鉄河和線連続立体交差化事業について、名鉄との協議はどこまで進んでいるのでしょうか。

○市街地整備課長（内田尚良）

名鉄との厳密な協議はまだ行っておらず、これからとなります。

○澤田勝委員

5年後の事業に関する調査を今年の補正予算で計上した経緯を教えてください。また、まちづくりの成果物のイメージについて教えてください。

○市街地整備課長（内田尚良）

令和12年のJRの高架事業完了から逆算すると、令和8年には次のステッ

プに進む必要があります。そのステップに進むためには、鉄道高架の必要性を説明する根拠を事前に国へ示す必要があります、その資料を準備するために今年度補正で対応するものです。成果物としては、高架化によってどのようなまちづくりが可能になるのか、図面などで「見える化」し、今後の議論のベースとなるものを作成します。

○建設部長（村瀬浩之）

補足として、来年度から県に事業調査をお願いするにあたり、国に対してしっかり説明責任を果たす必要があります。他市の事例では、市の方針をイメージできるものがなく事業化に苦労していると聞いています。半田市として事業化に繋げていくために、しっかりとした説明資料を作るための委託です。

○澤田勝委員

事業化の判断はどのくらいのスケジュール感で考えていますか。

○市街地整備課長（内田尚良）

今年度の調査結果も踏まえ、来年度から始まる県による調査が2～3年程度かかり、その調査の中で鉄道事業者とも協議しながら、事業化の可否を判断していくことになります。

○小出義一委員

今回の調査結果はいつ頃聞けるのでしょうか。

○市街地整備課長（内田尚良）

今年度行う業務の成果につきましては、来年の3月頃には皆様にお伝えできると考えております。

○委員長（伊藤正興）

他に質疑はないようですので、これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいまから討論を省略して採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

ただいまから採決を行います。本案は原案の通り決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

異議なしと認めます。よって、議案第53号中、当委員会に分割付託された案件は原案の通り可決しました。

続きまして、議案第54号を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○下水道課長（榊原健史）

1款 資本的支出、1項 建設改良費、2目 雨水整備事業費 2,772万円の追加は、他市で発生した下水道管の破損による道路陥没事故を受け、大規模下水道管路特別重点調査を実施するものです。調査の対象は、内径が2m以上かつ、設置から30年以上経過した雨水管約8.2キロで、令和8年1月中に調査を完了する予定です。財源は、企業債と国庫補助金を充当します。

○委員長（伊藤正興）

補足説明は終わりました。ただいまから質疑を行います。

○小出義一委員

調査対象の選定理由を教えてください。

○下水道課長（榊原健史）

今回の調査対象は内径2 m以上、設置後30年以上という条件で、これは国の補助事業の要件でもあります。他市の事故を踏まえ、事故発生時の影響が大きい大型で経年劣化も考えられる管路を最優先で調査するものです。この条件に当てはまる市内の雨水管8.2キロは、全て調査対象となります。

○委員長（伊藤正興）

他にご質疑はありませんか。ないようですので質疑を終わります。

お諮りします。ただいまから討論を省略して採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

本案は原案の通り決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

異議なしと認めます。よって、議案第54号は原案の通り可決しました。

続きまして、議案第56号を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○産業課長（榊原正彦）

概要につきましては、6月17日の全員協議会および本会議場で説明いたしました通りでございます。

○委員長（伊藤正興）

補足説明は終わりました。ただいまから質疑を行います。ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいまから討論を省略して採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

本案は原案の通り決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

異議なしと認めます。よって、議案第56号は原案の通り可決しました。

続きまして、議案第57号を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○建築課長（鈴木厚士）

補足説明はありません。

○委員長（伊藤正興）

補足説明は終わりました。ただいまから質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○麻生七海委員

この解体後の活用方法はどのようになっていますか。

○建築課長（鈴木厚士）

解体後の活用につきましては、庁内で意見を調査したところ、これまで活用の意向がある部署はありませんでしたので、今後は売却も含めて検討することになります。

○委員長（伊藤正興）

他にご質疑はございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいまから討論を省略して採決に入ります。これにご異議あ

りませんか。

【「異議なし」との声あり】

本案は原案の通り決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

異議なしと認めます。よって議案第57号は原案の通り可決しました。

以上で当委員会に付託されました議案は審査を終了しました。なお、委員長報告は正副委員長にご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。その他何か発言がありましたらお願いいたします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで建設産業委員会を終わります。

午前10時30分 散会